

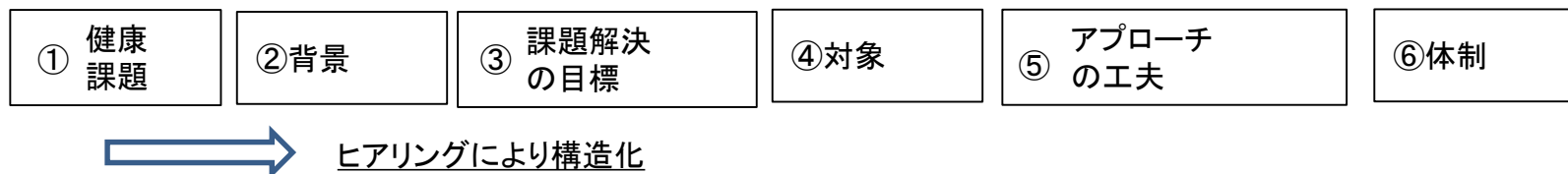
保険者の取組事例の構造化について

保険者の取組事例の構造化とは

- 保険者の健康課題を解決するための方法及び実施体制の工夫を同じ様式（保健事業カルテ）に整理し、“見える化”すること。
- 保険者が自地域・自職場に適した取組事例を見つけることができるよう、保険者規模や地域資源、職場環境、健康課題の違いや効果的な保健事業について整理し、それぞれをパターン化することを目的としている。
- 先進的な取組を実施している保険者に対しヒアリングを行うことで、アプローチの工夫や体制などの暗黙知となっている部分を明らかにし、情報の横展開を行う。

◎本事業は令和3年度からの継続事業。

構造化イメージ



助言者

東京大学未来ビジョン研究センター
データヘルス研究ユニット 特任教授 古井 祐司 氏

取組テーマ

- (1) 特定健康診査
- (2) 特定保健指導
- (3) 生活習慣病重症化予防 ※令和4年度までは「糖尿病性腎症重症化予防」の名称で実施。

参加保険者数

令和5年度は4～6保険者を対象に実施予定（調整中）

《参考：過去参加保険者》

テーマ	特定健診	特定保健指導	糖尿病性腎症重症化予防	後発医薬品使用促進	計
R3年度	-	・全国健康保険協会東京支部	-	・東京都後期高齢者医療広域連合	2保険者
R4年度	・関東ITソフトウェア健康保険組合 ・ジェイアールグループ健康保険組合	・電設工業健康保険組合	・杉並区 ・府中市	・全国健康保険協会東京支部	6保険者
計	2保険者	2保険者	2保険者	2保険者	8保険者

事業実施の流れ

- ① 参加保険者の選定
- ② 参加保険者へ保健事業カルテの趣旨・内容の説明
- ③ 保健事業カルテの記載
- ④ 助言者によるヒアリング
- ⑤ 保健事業カルテ（助言者の講評有り）のホームページ掲載

年間スケジュール(予定)

	令和5年			令和6年
	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
保険者協議会		7月 進捗状況報告	12月 進捗状況報告	2月 結果報告
部会	6月 進捗状況報告		10～11月 進捗状況報告	1～2月 結果報告
事業実施の流れ	①	②	③	④